

7T82

BSB7T82-A0607

セイコーウォッチ株式会社 <http://www.seiko-watch.co.jp/>

お客様相談窓口(全国フリーダイヤル)0120-612-911 (下記の最寄地に着信いたします)

お客様相談室

東京 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

大阪 〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング 8階

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

1/100-SECOND CHRONOGRAPH

1/100秒 クロノグラフ

G-4

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整は
お買い上げ店・弊社お客様相談窓口
(裏表紙に記載)にて承っておりますが、
その他のお店では有料もしくはお取扱
いいただけない場合があります。

※ 保証期間内でも電池交換は
有料となります。
お買い上げの時計には検査用のモニター
電池が入っています。所定の年数よりも
早めに電池が切れることがあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。



時計から電池を取り出さないでください



乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください

電池や部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師とご相談ください。



次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。



以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品・防虫剤・シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ ○ 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。



アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医に相談してください。



その他のご注意

- 提げ時計やペンダント時計のひもやチェーンが衣類や手・首などを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

目次

操作について

| | |
|--|----|
| 特長 | 6 |
| 各部の名称 | 7 |
| 時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ針) | 9 |
| 日付の合わせかた | 14 |
| ストップウォッチの使いかた | 15 |
| ストップウォッチのデモンストレーション運針について | 21 |
| 電池交換後のお願い(システムリセット) | 22 |
| 製品仕様 | 23 |

ご注意いただきたいこと

| | |
|------------------|----|
| アフターサービスについて | 26 |
| 保証について | 28 |
| お手入れについて | 30 |
| 防水性能について | 32 |
| 耐磁性能について(磁気の影響) | 36 |
| バンドについて | 38 |
| 特殊な中留の使い方について | 40 |
| 使用電池・電池寿命・精度について | 46 |
| ルミブライトについて | 47 |
| こんなときには | 48 |

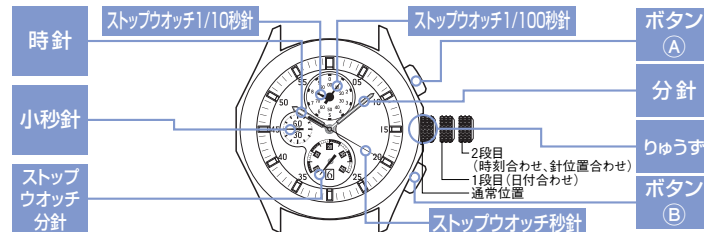
操作について

特長

この時計は、基本時計とストップウォッチ機能を備えたアナログ時計です。

- 基本時計は、時・分・小秒針で表示します。
- ストップウォッチは、専用の針（1/100秒、秒、分）で表示する1/100秒単位での計測が可能な40分計です。
- スプリット計測が可能です。
- 1/100秒針は、1秒間に10周回る高速運針をします。ストップウォッチは、2時間経過で自動的にストップします。
- クロノグラフ分針（40分計）はレトログランド式です。41分になると針が1分の位置に戻り、継続して計測できます。81分経過時にも針が戻り、120分経過で自動停止します。

各部の名称

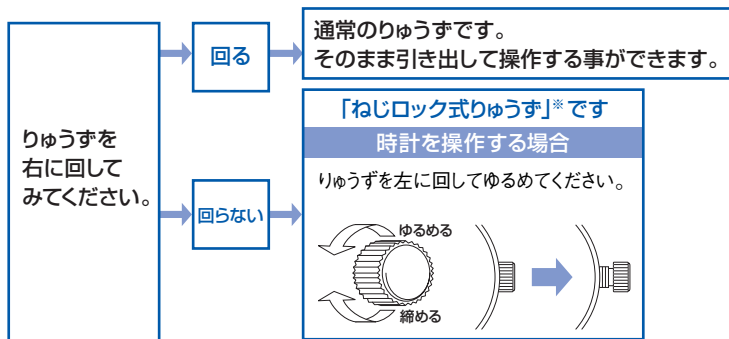


※りゅうずにはネジロック構造を持っているものがあります。

(→「りゅうずをご確認ください」を参照)

※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

りゅうずをご確認ください



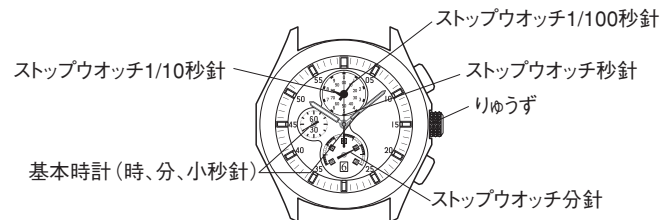
※りゅうずが誤って引き出される事を防止するため、時計本体にねじ止めできるりゅうずです。

- 時計の操作後は必ずりゅうずを押し付けながら右に回して元通りに締めてください。
- りゅうずを締める時、回しにくい場合は元に戻してからやり直してください。
- 無理に締めますとねじを壊す恐れがあります。

時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ針)

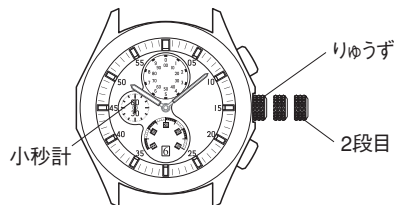
この時計の時刻合わせ (基本時計) とストップウォッチ針の0位置合わせは、共にりゅうず2段目で行ないます。そのため、時刻合わせ等でりゅうずを2段目に引き出した際は、下記の2つの項目を確認または合わせ直してから、りゅうずを押し込んでください。

- ・基本時計の時刻
- ・ストップウォッチ針の0位置



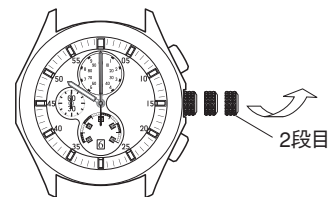
●時刻の合わせかた（基本時計）

- ①リゅうずを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。小秒針は12時の位置に止めてください。



※ストップウォッチ計測中の場合は、ストップウォッチが強制的にリセットされます。

- ②リゅうずを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。



このとき合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。その理由は、この後「ストップウォッチ針の0位置の合わせ」を行なうためです。すべての合わせが終わってから、リュウズを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

※日付が変わるところが、午前0時です。午前または午後を間違えないように合わせてください。
※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4～5分進めてから針を戻して合わせてください。

- ③2本の「ストップウォッチ針」の0位置合わせを行います。

ボタンAを約2秒押し続けてください。「ストップウォッチ1/10秒針と1/100秒針」が回ります。ボタンBを押して、ストップウォッチ1/10秒針と1/100秒針を両方も0位置に合わせてください。ボタンBを押し続けると、早送りします。
※1/10秒針は、1/100秒針に連動して動きます。
1/10秒針と1/100秒針は、0位置で重なります。



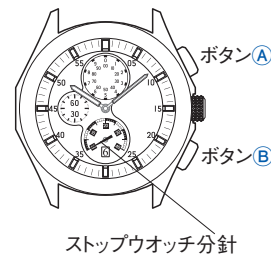
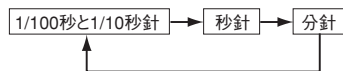
- ④ボタンAを約2秒押し続けると、ストップウォッチ秒針が1周回ります。

ボタンBを押して、ストップウォッチ秒針を「0秒位置」に合わせてください。
ボタンBを押し続けると、早送りします。



- ⑤ボタンAを約2秒押し続けてください。ストップウォッチ分針が1周回ります。ボタンBを押して、ストップウォッチ分針を0分の位置に合わせてください。ボタンBを押し続けると、早送りします。

※ストップウォッチ分針は、0位置合わせの時のみ40分目盛りを越えて1周します。修正中は目盛りのないところにも針が進みます。0分位置に合わせてください。
※次に、ボタンAを2秒以上押しすと、「ストップウォッチ1/100秒針と1/10秒針」の「0位置合わせ」に戻ります。「ボタンAを2秒以上押し」ことで、以下のような修正順番で「0位置合わせ」が可能です。

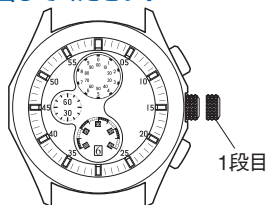


- ⑥すべての合わせができれば、時報と同時にリュウズを押し込みます。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

日付の合わせかた

- ・時刻合わせができてから、日付を合わせてください。
- ・1ヶ月が31日でない＝小の月(2,4,6,9,11月)の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに行ないます。

① **りゅうずを1段目まで、引き出してください。**



② **りゅうずを右に回して、日付を合わせてください。**

※午後9時から午前1時まででは日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがあるので、この時間帯外で日付を合わせてください。

③ **合わせ終わったら、りゅうずを押し込んでください。**

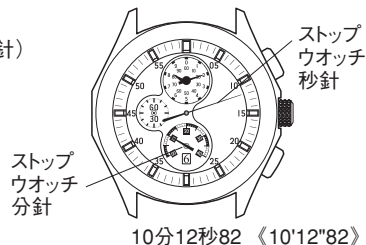
ストップウォッチの使いかた

- 1/100秒単位40分計のストップウォッチです。2時間作動後、自動的にストップします。
- 12時位置の1/10秒針、1/100秒針、センターの秒針と6時位置の分針で読み取ります。
- スプリット機能があります。

※1/100秒針と1/10秒針は、スタート後3分間は運針しますが、その後は00へとどまり、ストップおよびスプリット操作があった場合、その計測時間を示します。再スタート後およびスプリット解除後も、最大3分間は作動します。

〈計測時間の読みかた〉

4本のストップウォッチ針(1/100秒、1/10秒、秒、分針)で計測時間を読み取ります。



特に、1/100秒針と1/10秒針の読みかたには、ご注意ください。

ストップウォッチ
1/100秒針



ストップ
ウォッチ
1/10秒針

左図は、「19」とよみます。
1/100秒単位が大きな値の場合、
1/10秒針が次の目盛に近づくので、
「29」とは読まないでください。

〈ストップウォッチ分針の動きについて〉

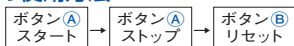
- ・ストップウォッチ分針は40分までは、通常に運針します。
- ・41分(および81分＝1時間21分)になると、1分目盛位置に戻り計測を続けます。
- ・120分(2時間)経過で、ストップウォッチが自動停止しますので、最終的に下図の位置で止まります。(再び使用する際には、ボタンBでリセットしてください。)



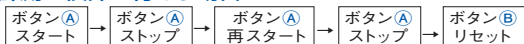
〈ストップウォッチ針の0位置について〉

- ・ストップウォッチをリセットしても、ストップウォッチ針が0位置に戻らない場合、0位置合わせが必要です。
- ・ストップウォッチ針の0位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時に行ないます。(→「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」を参照)

●通常の使用法

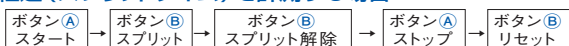


●時間計測を積算で行なう場合



何回でも繰返すことができます。

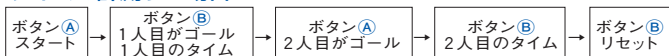
●途中経過(スプリットタイム)を計測する場合



何回でも繰返すことができます。

※「スプリット」状態で、計測時間が2時間になると、自動停止がはたらきます。スプリットは解除され、「40分00秒00」を示しますので、次の計測をする前にボタンBでリセットしてください。

●2人のタイムを計測する場合



●ストップウォッチのリセット方法

- ・ストップウォッチ針が動いている場合、
① ボタン(A)でストップ
② ボタン(B)でリセット
- ・ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。

【ストップ状態で止まっている】

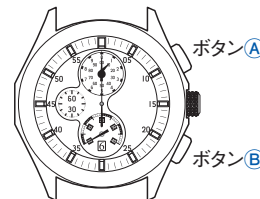
- ① ボタン(B)でリセット

【スプリット表示でストップウォッチが計測中】

- ① ボタン(B)でストップウォッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
- ② ボタン(A)でストップ
- ③ ボタン(B)でリセット

【スプリット表示でストップ状態】

- ① ボタン(B)でストップウォッチ針が早送りし、その後止まる。
- ② ボタン(B)でリセット

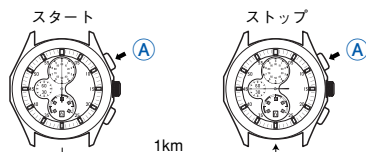


ストップウォッチ針のデモンストレーション運針について

●タキメーター (TACHYMETER) の使い方 (タキメーターがついている場合)

○時速や単位時間あたりの出来高などが簡単に測定できます。

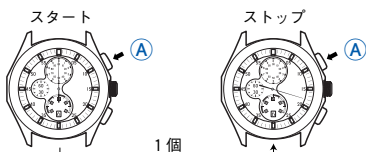
時速の測定



- ① 1km走るのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

80km/時

1時間あたりの出来高の測定



- ① 製品1個が出来あがるのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

200個/1時間あたり

- ・ストップウォッチ専用の4本の針が、デモンストレーション運針を行います。
- ・4本の針がそれぞれ高速に運針し、最後にリセット位置に戻ります。

●デモンストレーション運針のしかた

- ① ストップウォッチをリセット状態にしてください。
詳しくは、「ストップウォッチの使いかた」を参照
- ② ボタン(B)を2秒以上押し続けてください。

1/100秒針、1/10秒針、秒針は、高速運針分針は、0分～40分までを往復運針します。

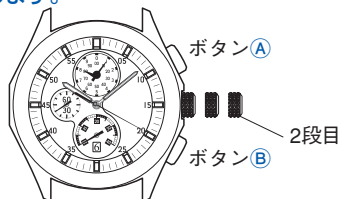


- ※約3秒でデモンストレーション運針が終わります。終了後は通常のストップウォッチ操作が可能です。
- ※デモンストレーション運針中に、ボタンAまたはボタンBの操作があると、デモンストレーション運針を中止し、リセット状態に戻ります。

電池交換後または、万一異常な動きになった場合、以下の操作を行ってください。時計内部がシステムリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットのしかた

①りゆうずを2段目に引き出します。



②ボタンAとボタンBを3秒以上同時に押します。

③りゆうずを通常位置に戻し、通常運針になっているかを確認してください。

システムリセット後は、初期状態になりますので、時刻合わせおよびストップウォッチ針の「0位置合わせ」を行ってください。→「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」を参照

1. 水晶振動数.....32,768Hz
2. 精度.....平均月差±15秒
(気温5℃~35℃において腕につけた場合)
3. 作動温度範囲.....-10℃~+60℃
4. 駆動方式.....ステップモーター式:4個
5. 表示内容.....【時刻機能】時、分、小秒針(1秒ステップ運針)
【ストップウォッチ機能】
ストップウォッチ1/100秒針(1/100秒ステップ、0.1秒/1周)
ストップウォッチ1/10秒針(1/100秒ステップ、1秒/1周)
ストップウォッチ秒針(1秒ステップ運針、60秒/1周)
ストップウォッチ分針(1分ステップ運針、40分/2・3周)
6. 使用電池.....小型酸化銀電池 SB-BP:1個
7. 電池寿命.....約3年
ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。
8. 電池寿命切れ予告機能つき
9. 電子回路.....発振、分周、駆動回路(C-MOS-IC):1個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

ご注意ください

アフターサービスについて

修理用部品について

- この時計の修理用部品の保有期間は通常7年を基準としています。
- 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

電池交換について

- 電池交換はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
(交換の際に電池の回収をおこなっております。)
その際防水性能を維持するためパッキン交換をご依頼ください。
- 電池交換は保証期間内でも有料となります。
- 10気圧防水以上の時計は、防水検査をご依頼ください。
防水検査は日数を要しますので期間をご確認ください。
- 電池交換してもすぐ止る場合はオーバーホールが必要です。

オーバーホール(分解掃除)について

時計は精密機械です。部品の油切れや磨耗により止まり遅れが生じることがあります。その際にはオーバーホールをご依頼ください。オーバーホールの際にはパッキンやバネ棒の交換もご依頼ください。

保証と修理について

- 修理やオーバーホールの際は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内の場合は必ず保証書を添えてください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

保証について

取扱説明書にそった正常な使用により、お買い上げ後1年以内に不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

- 時計本体(ムーブメント・ケース)及び金属バンドです。

保証の適用除外(保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります)

- 電池交換及び皮革・ウレタン・布等のバンドの交換
- 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
- ご使用中に生じるキズ・汚れ等
- 火災・水害・地震等の天災地変による故障及び損傷
- 保証書記載項目の全てが記入された保証書のみが有効です。
故意に字句を書き換えた場合は規定の無償修理は受けられません。

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

保証を受ける手続き

- 保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

その他

- 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。ご使用部品の保有期間は本取扱説明書(P.26)をご参照ください。
- 金属バンド等の調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。上記以外の販売店での調整は有料になります。

お手入れについて

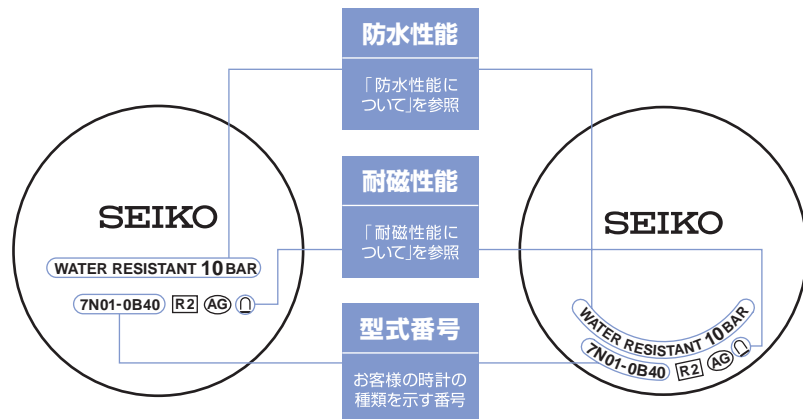
日頃からこまめにお手入れしてください

- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- すきま（金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど）の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
- 海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

りゅうずは時々回してください

- りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引く必要はありません）

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※上記の図は例であり、お買いいただいた時計とは異なります。

防水性能について

お買いいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。
（「P.31」をご覧ください）

| 裏ぶた表示 | 防水性能 |
|----------------------------|-------------------------|
| 表示なし | 非防水です。 |
| WATER RESISTANT | 日常生活用防水です。 |
| WATER RESISTANT 5 BAR | 日常生活用強化防水で5気圧防水です。 |
| WATER RESISTANT 10(20) BAR | 日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。 |



注意

- 防水性能を維持するため、電池交換の際は必ずパッキン交換をご依頼ください。
- また電池交換の際、10気圧防水以上の時計は防水検査をご依頼ください。

お取扱方法

水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。

日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 **警告** 水泳には使用しないで下さい。

水泳などのスポーツに使用できます。

空気ボンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい

BAR (気圧) 表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用下さい。

注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないで下さい

時計内部に水分が入ることがあります。

注意



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

耐磁性能について (磁気の影響)

アナログクォーツ時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

※磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。時刻を合わせ直してお使いください。

| 裏ぶた表示 | お取扱方法 |
|-------|--------------------------------------|
| 表示なし | 磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。 |
| | 磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準1種) |
| | 磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準2種) |

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話 (スピーカー部)

磁気健康バンド



バッグ (磁石の止め金)

磁気ネックレス



交流電気かみそり

磁気健康マット



携帯ラジオ (スピーカー部)

磁気健康枕

電磁調理器

など

アナログクォーツ時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁力で互いに影響し合い、モーターを止めたり、無理に回転させてしまうためです。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水・汗・汚れをそのままにしておくとさび易くなります。
- 手入れが悪いとかぶれやワイシャツの袖口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布で取り除いてください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシ等で取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)

皮革バンド

- 水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。
- 直接日光にあたる場所に放置しないでください。
- 色味の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。

- 時計本体が日常生活強化防水(10気圧防水)になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳、水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- 光で色が褪せたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や、白色、淡色のバンドは、他の色を吸着し易く、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布で良く拭き取ってください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)
- 弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れもしくはバンドとのすれなど不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズの目安について

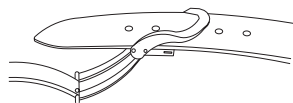
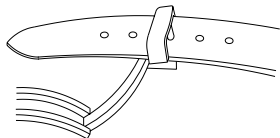
バンドは多少余裕をもたせ通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



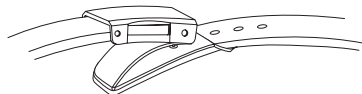
特殊な中留の使い方について

皮革バンド、および、メタルバンドの一部に特殊な中留を用いたものがございます。お買い上げの時計の中留が下記のいずれかに当てはまる場合は、各々の操作方法をご覧ください。

- A) 三ツ折中留 (皮革バンド専用)
B) ワンプッシュ三ツ折中留 (皮革バンド、メタルバンド)

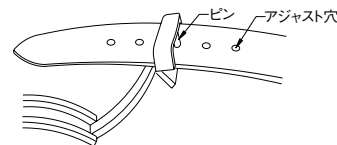
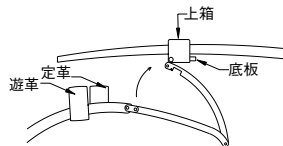


© ワンプッシュ三ツ折中留 (皮革バンド専用)



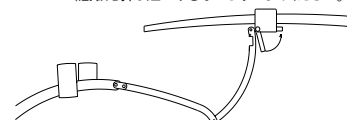
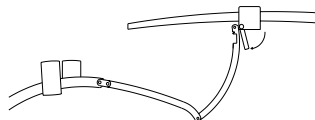
A) 三ツ折中留 (皮革バンド専用) の使い方

- 1) バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。
- 3) ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところまでピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



- 2) 上箱の底板を下に開きます。

- 4) 底板を閉めます。(底板を押し込みすぎないようにしてください。)

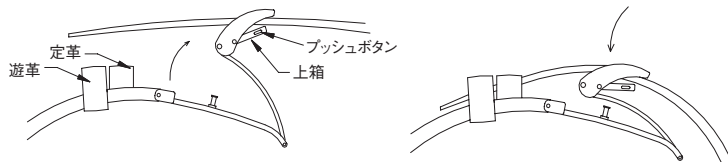


※中留を装着するときは、バンドの剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めて下さい。

B ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド、メタルバンド) の使い方

① 時計の着脱方法

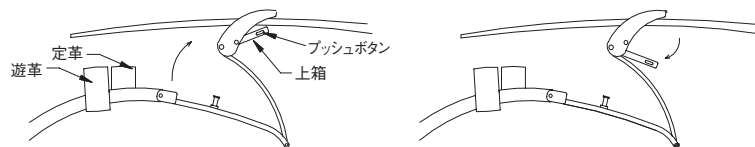
- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱の上面位置をしっかり押さえ留めます。



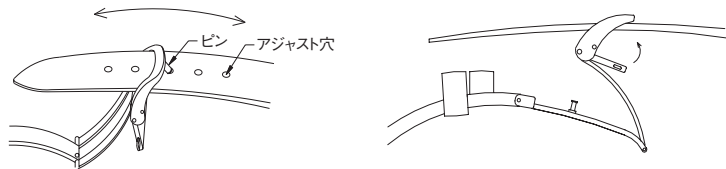
※メタルバンドの場合は、定革がない場合がございます。

② バンドの長さ調整方法

- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) もう一度プッシュボタンを押し上箱を下に開きます。



- 3) ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴に入れます。
- 4) プッシュボタンを押しながら上箱を閉めます。



C ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド専用) の使い方

- 1) プッシュボタンを押しながら中留を開きます。
- 2) バンドのアジャスト穴をピンから外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴にもう一度入れ、プッシュボタンを押しながら中留をしっかり抑え留めます。



機種は裏ぶたでご確認いただけます。
 (「お手入れについて」をご覧ください)

| 機種 | 型式番号の前4桁 (例:7T82-0AC0) | 使用電池 SB- | 電池 寿命 | 精度 (平均 月差) |
|------|---------------------------|-------------|----------|------------------|
| 7T82 | | BP | 約3年 | ±15秒 |

- 上記の電池寿命は新しく電池を入れたときのものです。
 ※ただし、ストップウォッチの使用を1日2時間以内を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
- お買い上げ時の電池は検査用のモニター電池ですので、上記期間より早く切れる事があります。
- 秒針が2秒おきに動くのは、電池が切れる合図です。この場合でも時刻は正常です。
- 精度は常温(5℃~35℃)において腕につけた場合のものです。
- 作動温度範囲は-10℃~+60℃です。

〔お買い上げの時計がルミブライトつきの場合〕

ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質です。

ルミブライトは、太陽光や照明器具の明かりを短時間(10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3~5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合いにより、光を放つ時には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉(目安値)

- ① 太陽光 [晴天] 100,000ルクス [曇天] 10,000ルクス
- ② 屋内(昼間窓際) [晴天] 3,000ルクス以上 [曇天] 1,000~3,000ルクス
 [雨天] 1,000ルクス以下
- ③ 照明(白色蛍光灯40Wの下で) [1m] 1,000ルクス
 [3m] 500ルクス(通常室内レベル)
 [4m] 250ルクス

こんなときには

| 現象 | 考えられる原因 | このようにしてください |
|-------------------------|---------------------------------------|---|
| 時計が止まった | 電池の容量がなくなった。 | 電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。 |
| 小秒針が2秒遅れている。 | 電池寿命切れが近づいた。 | |
| 時計が一時的に進む/遅れる | 暑いところ、または、寒いところへ放置した。 | 常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃~35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。 |
| | 磁気を発生するもののそばに置いた。 | 磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。 |
| | 落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。 | 時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。 |
| ストップウォッチをリセットしても0に戻らない。 | 磁気や外部からの衝撃が加えられた。 | ストップウォッチ針の0位置合わせをしてください。 →「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」を参照 |
| ガラスのくもりが消えない | パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った | お買い上げ店にご相談ください。 |
| 日中、日付が切り替る | 時刻合わせが12時間ずれている | 12時間、針を進めて時刻を合わせ直してください。 |

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
For proper and safe use of your SEIKO watch,
please read carefully the instructions
in this booklet before using.

Keep this manual handy for easy reference.

※Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover). The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※Battery replacement is at cost even within the guarantee period.

The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks. Therefore, the battery may run down earlier than the specified period.

WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.



Do not remove the battery from the watch.



Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the battery or accessories.

If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.



Immediately stop wearing the watch in following cases.

- If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- If the pins protrude from the band.

※Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).

CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.



Avoid the following places for wearing or keeping the watch.

- Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
 - Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
 - Places of high humidity
 - Places affected by strong magnetism or static electricity
 - Dusty places ○ Places affected by strong vibrations
- ※ Do not leave a dead battery within the watch for a long time as leakage might occur.



If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist



Other cautions

- Note that there is a risk of damaging your clothes, hand or neck with the band, cord or chain of the pocket watch or pendant watch.
- Do not disassemble or tamper with the watch.
- Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

CONTENTS

HOW TO USE

| | |
|--|----|
| Features | 56 |
| Names of the parts | 57 |
| Setting the time and adjusting the STOPWATCH hand position | 59 |
| How to set the date | 64 |
| How to use the stopwatch | 65 |
| Demonstration function of the STOPWATCH hand movement | 71 |
| Necessary procedure after battery change | 72 |
| Specifications | 73 |

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

| | |
|--|----|
| After-sale service | 76 |
| Guarantee | 78 |
| Daily care | 80 |
| Water Resistance | 82 |
| Magnetic resistance (affect of magnetic field) | 86 |
| Band (maintenance procedure) | 88 |
| Special Clasps | 90 |
| Battery/Battery life/Accuracy | 96 |
| Lumibrite | 97 |
| Trouble shooting | 98 |

HOW TO USE

Features

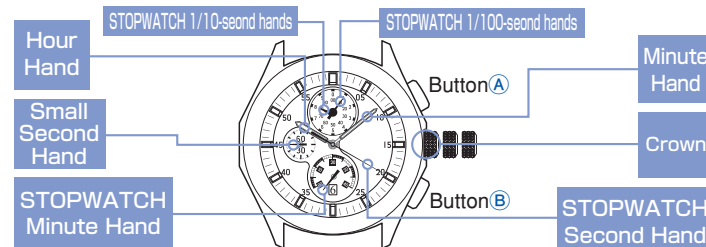
TIME/CALENDER

Hour, minute and small second hands

STOPWATCH

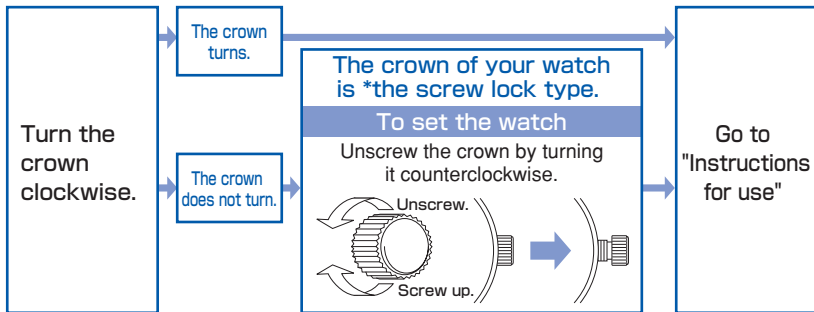
- 40-minute measurement in 1/100-second increments
- 4 STOPWATCH hands
 - 1-100-second, 1/10-second, second and minute hands
- Split time measurement on demand
- 1/100-second high-speed movement
 - The STOPWATCH 1/100-second hand makes 10 full circles in one second.
- 40-minute dial with a retrograde minute hand
 - When the minute counting reaches 40 minutes, the STOPWATCH minute hand immediately returns and continues counting from 41 minutes onward. The minute counting is repeated in the same manner for another rotation, up to 1200minutes, at that time the stopwatch automatically stops counting.

Names of the parts



- If your watch has a screw down crown, refer to "Check the type of the crown of your watch" section on the next page.
- Simplified illustrations are used in the following sections of this manual.

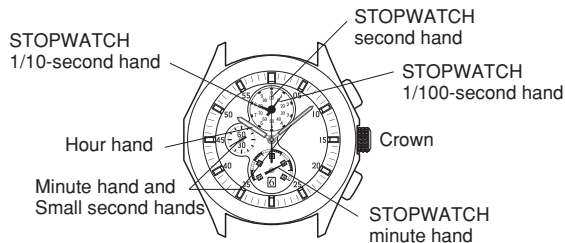
Check the type of the crown of your watch



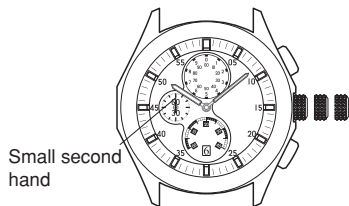
- ※ This type of crown can be screwed into the watch body to avoid being pulled out by mistake.
- After completing all settings of the watch, screw the crown in again by turning it clockwise while pressing it.
 - If the crown turns out to be too stiff to be screwed up, turn the crown counterclockwise once and then give another try.
 - Do not screw it in by force as it may damage the slots of the crown.

Setting the time and adjusting the STOPWATCH hand position

- This watch is designed so that the following adjustments are made with the crown at the second click position:
 - time setting
 - STOPWATCH hand position adjustment
 Once the crown is pulled out to the second click, be sure to make both the above adjustments at the same time.

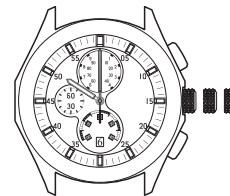


- ① Pull out the crown to the second click when the small second hand is at the 12 o'clock position. The small second hand stops on the spot.



- ※ If the stopwatch is measuring, the STOPWATCH hands are automatically reset to "0" position.

- ② Turn the crown to set the main time hands to the desired time.



It is recommended that the hands be set to the time a few minutes ahead of the current time, taking into consideration the time required to set the alarm hands and to adjust the STOPWATCH hand position if necessary.

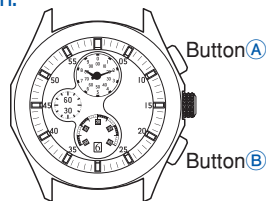
- ※ When setting the hour hand, check that AM/PM is correctly set. The watch is so designed that the date changes once in 24 hours.
- ※ When setting the minute hand, first advance it 4 to 5 minutes ahead of the desired time, and then, turn it back to the exact minute.

③ Reset the two STOPWATCH hands to "0" position.

Press Button **A** for 2 seconds. The STOPWATCH 1/10- second and 1/100-second hands turns a full circle.

Press button **B** repeatedly to reset the STOPWATCH 1/10- second and 1/100-second hands to "0" position.

It moves quickly if button **B** is kept pressed.

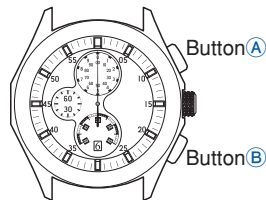


④ Press button **A** for 2 seconds.

The STOPWATCH second hand turns a full circle.

Press button **B** repeatedly to reset the STOPWATCH second hand to "0" position.

It moves quickly if button **B** is kept pressed.



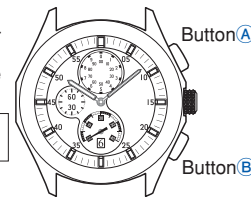
⑤ Press button **A** for 2 seconds.

The STOPWATCH minute hand turns a full circle.

Press button **B** repeatedly to reset the STOPWATCH minute hand to "0" position. It moves quickly if button **B** is kept pressed.

※STOPWATCH minute hand turns a full circle passing the 40-minute marker only during the STOPWATCH hand position adjustment.

※If Button **A** is pressed again for 2 seconds, you can go back to the adjustment of 1/10- and 1/100-second hands and so on in the following order.



⑥ After all the adjustments are completed, push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.

※Check that the main time hands and alarm hands indicate the identical time, and then, push the crown back in to the normal position.

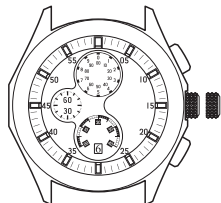
※The telephone time signal service (TEL. 117) is helpful in setting the hands accurately.

How to set the date

○Be sure to set the main time before setting the date.

○It is necessary to adjust the date on the first day of March and months following 30-day months.

① Pull out the crown to the first click.



② Turn the crown clockwise to set the date.

※Do not set the date between 9:00 p.m. and 1:00 a.m. Otherwise, the date may not change properly. If it is necessary to set date during that time period, first change the time to any time outside it, set the date and then, reset the correct time.

③ After all the adjustments are completed, push the crown back in to the normal position.

How to use the stopwatch

•The stopwatch features a 40-minute dial with a retrograde minute hand.

•The stopwatch can consecutively measure up to 120 minutes in 1/100-second increments. When the measurement reaches 120 minutes, the stopwatch automatically stops counting.

•Split time measurement is possible.

※After 3 minutes of timing from a start, the STOPWATCH 1/100-second and 1/10-second hands remain pointing to the "0" position until the watch is stopped or split time measurement is made, at such a time, they move to display the measured time. They start to move for a maximum of three minutes after the watch is restarted or the split time display is released.

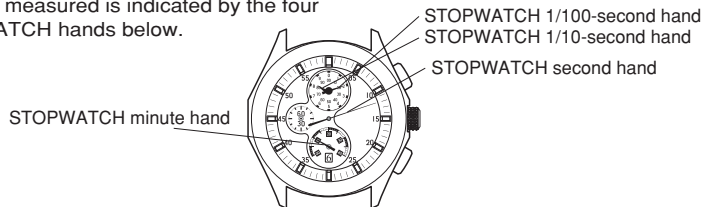
〈Note on adjusting the STOPWATCH hand position〉

•If the STOPWATCH hands do not return to "0" position when the stopwatch is reset, follow the procedure in "Time setting and adjusting the stopwatch hand position" to reset them.

•In that case, be sure to adjust the main time hands to the current time.

<How to read the STOPWATCH hands>

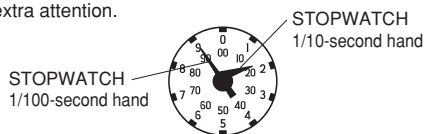
The time measured is indicated by the four STOPWATCH hands below.



Reading the 1/100-second and 1/10-second hands requires extra attention.

10 minutes 12 seconds 82 (10'12"82)

*The display illustrated at the left should be read as "19" not "29". When the 1/100-second hand is moving toward larger numbers, the 1/10 second hand comes close to the next marker, which may cause you to wrongly read the hands as "29".



<Remarks on the STOPWATCH minute hand movement>

- When the minute counting reaches 40 minutes, the STOPWATCH minute hand immediately returns and continues counting from 41 minutes onward. The minute counting is repeated in the same manner for another rotation, up to 120 minutes, at that time the stopwatch automatically stops.
- The final position of the STOPWATCH minute hand, after completing 120 minutes of counting, is illustrated below.



- Before starting to use the stopwatch again, make sure to reset the stopwatch by pressing Button B.

● Standard measurement



● Accumulated elapsed time measurement



Restart and stop of the stopwatch can be repeated by pressing button A.

● Split (intermediate) time measurement



*Measurement and release of split time can be repeated by pressing Button B.
If the time measured reaches 120 minutes while the split time is being displayed, the stopwatch automatically stops counting and releases the split time display, showing "40'00"00". Before starting the next measurement make sure to reset the stopwatch by pressing Button B.

● Measurement of two competitors



<How to reset the STOPWATCH>

While the STOPWATCH hands are moving

1. Press Button A to stop the stopwatch.
2. Press Button B to reset the stopwatch.

While the STOPWATCH hands are stopped

(When the stopwatch is stopped)

1. Press Button B to reset the stopwatch.
- (When the split time measurement is displayed while the stopwatch is measuring.)
1. Press Button B to release the split time display and return to the normal display

2. Press Button A to stop the stopwatch
3. Press Button B to reset the stopwatch

(When the split time measurement is displayed and the stopwatch is stopped.)

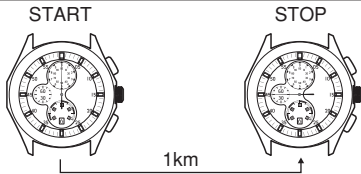
1. Press Button B to release the split time display.
2. Press Button B to reset the stopwatch.

Demonstration function of the STOPWATCH hand movement

How to use the tachymeter (For the models with a tachymeter scale on the dial)

- The tachymeter can be used to measure the hourly average speed of a vehicle and the hourly rate of operation.

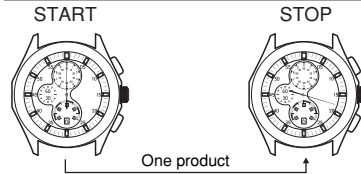
To measure the hourly average speed of a vehicle



- ①Use the stopwatch to determine how many seconds it takes to go one kilometer.
- ②Read the tachymeter scale where the second hand points.

80km/h

To measure the hourly rate of operation



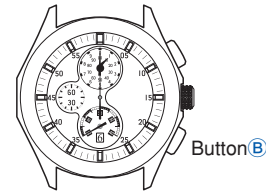
- ①Use the stopwatch to measure the time required to complete one product.
- ②Read the tachymeter where the second hand points.

200 products/hour

- The demonstration function allows you to view the movement of the four STOPWATCH hands.
- Each of the four STOPWATCH hands demonstrates high-speed movements and when the demonstration is finished, they return to the original position.

How to view the demonstration

1. Reset the stopwatch.
*Refer to "How to use the stopwatch" section of this manual.
2. Press Button **B** for 2 seconds or longer.



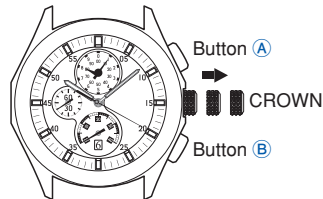
- *After approximately 3 seconds, the demonstration finishes, and the stopwatch is reset for the next use.
- *If either Button **A** or **B** is pressed during a demonstration, the demonstration will be stopped and the stopwatch will be reset.

Necessary procedure after battery change

After the battery is replaced with a new one, or when an abnormal display appears, follow the procedures below to reset the built-in IC. The watch will resume its normal operation.

<HOW TO RESET THE IC>

1. Pull out the crown to the second click.
2. Press Button **A** and **B** at the same time for 3 seconds or longer.
3. Push the crown back in to the normal position and check if the hands move as normal.



- *Resetting the IC will initialize the watch. Before starting to use the watch, it will be necessary to set the time and adjust the STOPWATCH hands to the "0" position. Refer to "Setting the time and adjusting the stopwatch hand position" section of this manual.

Specifications

1. Frequency of crystal oscillator-----32,768 Hz
2. Loss/gain (monthly rate)-----± 15 seconds at normal temperature range (5°C~35°C)
3. Operational temperature range----- - 10°C~+60°C
4. Driving system-----step motor, 4 pieces
5. Display system
Time/calendar----- Hour, minute and small second hands
Date is displayed in numerals.
Stopwatch----- STOPWATCH 1/100-second hand (0.1 second/360 degree)
STOPWATCH 1/10-second hand (1 second/360 degrees)
STOPWATCH second hand (60 seconds/360 degrees)
STOPWATCH minute hand (40 minutes/240 degrees)
6. Battery----- Miniature silver oxide battery SB-BP 1 piece
7. Battery life----- Approximately 3 years
If the stopwatch is used for longer than 2 hours a day, the battery life may be shorter than the specified period.
8. Battery life indicator
9. IC (Integrated Circuit)----- C-MOS-IC, 1 piece

*The specifications are subject to change without prior notice for product improvements.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

After-sale service

Repair parts

- The repair parts of this watch will be retained usually for 7 years.
- Some alternative parts may be used for repair if necessary.

Battery replacement

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER to have the battery replaced with a new one.
It is recommended to exchange the gasket at the same time to maintain the water resistant performance.
- Battery replacement will be at cost even within the guarantee period.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, a water resistant performance check is also recommended.
Please note that it may take some days to conduct the check.
- If the watch runs down on a new battery, it requires an overhaul.

Notes on overhaul

The watch is a precision device. If the parts run short of the oil or get worn out, the watch may stop its operation or lose time. In such a case, have the watch overhauled. In the case of overhaul, be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones.

Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer the watch was purchased from or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.

Guarantee

Within one year from the date of purchase, we guarantee free repair/adjustment service against any defects according to the following guarantee regulations, provided that the watch was properly used as directed in this instruction booklet.

Guarantee coverage

- The watch body (movement·case) and metallic band.

Exceptions from guarantee

In following cases, repair/adjustment services will be at cost even within the guarantee period or under guarantee coverage.

- Battery replacement and change of leather/urethane/cloth band
- Troubles or damage caused by accidents or improper usage
- Scratches or grime caused by use
- Problems and damage caused by acts of god, natural disasters including fire, floods or earthquakes.
- The certificate of guarantee is valid only if all the necessary items are properly filled in. We will not honor an altered or tampered certificate of guarantee for free repair services.

Free repair services are guaranteed only under the period and conditions specified in the certificate of guarantee. It does not affect specific legal rights of a consumer.

The certificate of guarantee is valid only in Japan.

Procedure to claim free repair services

- For any defects under guarantee, submit the watch together with the attached certificate of guarantee to the retailer from whom the watch was purchased.
- If repair services cannot be provided by the retailer from whom the watch was purchased, contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. In this case, the attached certificate of guarantee is also needed.

Others

- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Refer to the page 76 of this booklet for the retention period of the parts.
- For length adjustment service of a metallic band, ask the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Other retailers may undertake the service on a chargeable basis.

Daily care

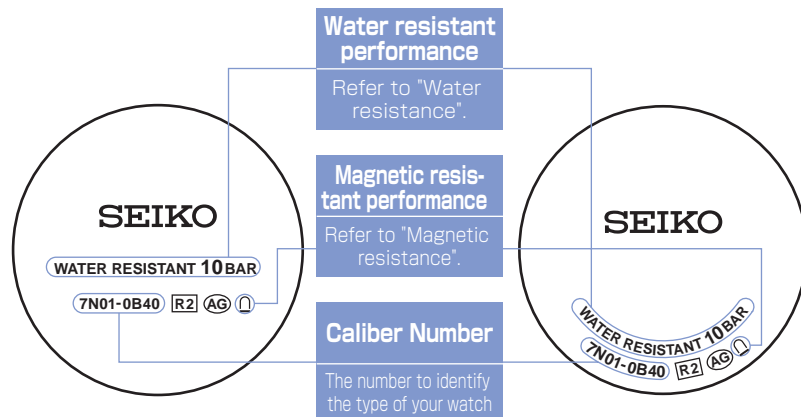
The watch requires good daily care

- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.

Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)

The case back shows the caliber and performance of your watch



※The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

Water Resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to ' P.81 ')

| Indication on the case back | Water resistant performance |
|-----------------------------|---|
| No indication | Non-water resistance |
| WATER RESISTANT | Water resistance for everyday life |
| WATER RESISTANT 5 BAR | Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures |
| WATER RESISTANT 10 (20) BAR | Water resistance for everyday life at 10 (20) barometric pressures. |

⚠ Cautions

- In order to maintain the water resistant performance at factory-adjusted level, make sure to replace the gasket when changing the battery.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, be sure to have the water resistant performance check when changing the battery.

Condition of Use

Avoid drops of water or sweat

The watch withstands accidental contact with water in everyday life.

⚠ **WARNING** Not suitable for swimming

The watch is suitable for sports such as swimming.

The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

⚠ WARNING



Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

⚠ CAUTION

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

⚠ CAUTION



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.



Do not pour running water directly from faucet.



The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

Magnetic resistance (affect of magnetic field)

Affected by nearby magnetism,

a quartz watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

※ This defective condition caused by magnetism will be corrected soon after the watch is removed from the magnetic source. Reset the time once again before using the watch.

| Indication on the case back | Condition of use |
|---|---|
| No indication | Keep the watch more than 10 cm away from magnetic products. |
|  | Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard) |
|  | Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard) |

Examples of common magnetic products that may affect watches



Cellular phone (speaker)



Bag (with magnet buckle)

AC-powered shaver



Portable radio (speaker)



Magnetic cooking device etc

Magnetic health belt

Magnetic necklace

Magnetic health mat

Magnetic health pillow

The reason why analogue quartz watch is affected by magnetism.

It is because the built-in motor of the watch, which harnesses magnetic power and external strong magnetism, affect each other to stop the motor or suppresses the turn of the motor.

Band (maintenance procedure)

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.

Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)

Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.

Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible or cracked, replace the band with a new one.

Notes on skin irritation and allergy

Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.

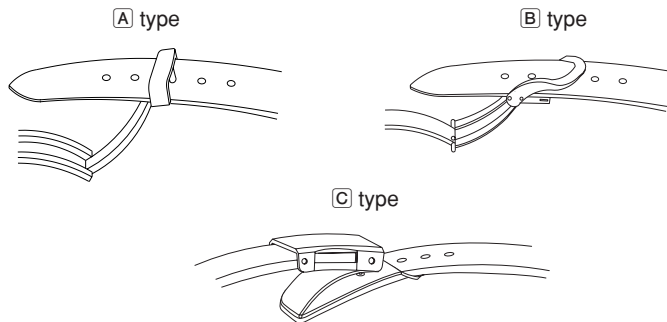
Notes on the length of the band

Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.



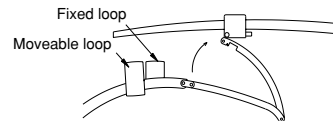
Special Clasps

There are 3 type of special clasps as described below;
If the clasp of the watch you purchased is one of them,
please refer to the indications.

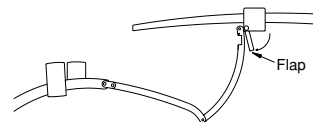


A Type

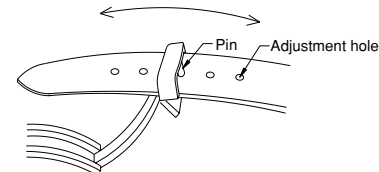
1) Lift up the clasp to release the buckle.



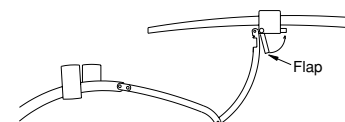
2) Open the flap.



3) Take the pin out of the adjustment hole, adjust the size of the strap by sliding it back and forth, and then put the pin back into the appropriate adjustment hole.



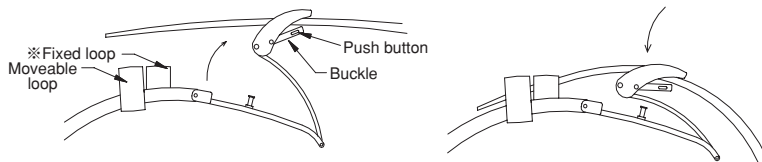
4) Close the flap.



B Type

1 How to wear or take off the watch

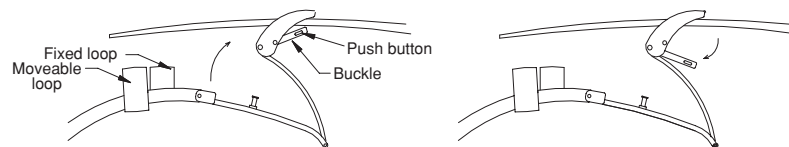
- 1) Press the button on both sides of the buckle ; pull the buckle up. The band will automatically come out of the loop.
- 2) Place the tip of the band into the moveable loop and fixed loop, and fasten the clasp by pressing the frame of the buckle.



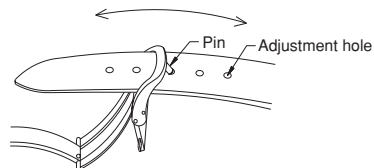
※No Fixed loop with Metal Bracelets.

2 How to adjust the length of the leather band

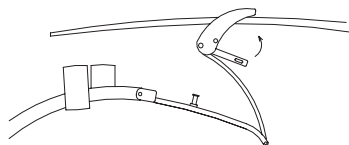
- 1) With pressing buttons on both sides of the buckle, pull the leather band out of the moveable loop and fixed loop. Then open the clasp.
- 2) Press the push buttons again to unfasten the buckle.



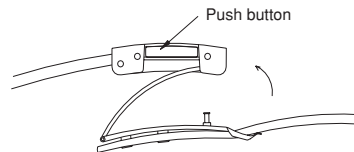
3) Pull the pin out of an adjustment hole of the band. Slide the band to adjust its length and find an appropriate hole. Place the pin into the hole.



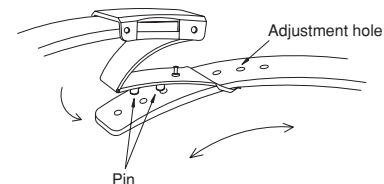
4) Fasten the buckle with pressing the push buttons.



1) Press the button on the buckle, and lift to open the clasp.



2) To adjust : Pull the pins out of the adjustment holes on the band. Slide the band to the appropriate length. Push the pins into the new holes on the band.



Battery/Battery life/Accuracy

Battery life and its accuracy vary depending on the type of your watch.
Check the case back of your watch to identify the type of watch.
(Refer to "Daily care".)

| Type of watch (The first four digits of the caliber number of your watch Ex. 7T82-0AC0) | Battery SB- | Battery life | Loss/Gain (per month) |
|--|-------------|-----------------|-----------------------|
| 7T82 | BP | Approx. 3 years | ±15 seconds |

- The battery life shown above is for a watch with a new battery.
- ※ However, if the stopwatch is used for more than 2 hours a day, the battery life may be less than three years.
- The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks, therefore, the battery may run down earlier than the above-specified period.
- When the battery is exhausted, the second hand moves at two-second intervals.
While the small second hand is moving at two-second intervals, the time accuracy is not affected.
- The accuracy is under the condition that the watch is worn on the wrist in a normal temperature range between 5 °C and 35 °C.
- Operational temperature range is -10 °C~+60 °C(14°F~140°F)

Lumibrite

[If your watch has lumibrite]

LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance. LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark. For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 5 to 8 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

<Reference data on the luminance>

- (A) Sunlight
[Fine weather]: 100,000 lux [Cloudy weather]: 10,000 lux
- (B) Indoor (Window-side during daytime)
[Fine weather]: more than 3,000 lux [Cloudy weather]: 1,000 to 3,000 lux
[Rainy weather]: less than 1,000 lux
- (C) Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)
[Distance to the watch: 1m]: 1,000 lux
[Distance to the watch: 3m]: 500 lux (average room luminance) [Distance to the watch: 4m]: 250 lux

Troubleshooting

| Trouble | Possible causes | Solutions |
|--|---|--|
| The watch stops operating | The battery has run down. | Have the battery replaced with a new one immediately by the retailer from whom the watch was purchased. |
| The small second hand moves at two second intervals | The battery nears its end. | |
| The watch temporarily gains or loses time. | The watch has been left or worn in extremely high or low temperatures. | Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5°C and 35°C. |
| | The watch has been left close to an object with a strong magnetic field. | Correct this condition by moving and keeping the watch away from the magnetic source. If this action does not correct the condition, contact the retailer from whom the watch was purchased. |
| | You drop the watch, hit it against a hand surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations. | Reset the time. If the watch does not return to its normal accuracy after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased. |
| The STOPWATCH hands do not return to the "0" position when the stopwatch is reset. | The watch has been affected by magnetism or exposed to strong vibrations. | Reset the stopwath hands to the "0" position. Follow the procedure in "Setting the time and adjusting the STOPWATCH hand position." |
| The inner surface of the glass is clouded. | Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated. | Contact the retailer from whom the watch was purchased. |
| The date changes at 12 o'clock noon. | AM/PM is not properly set. | Advance the hour hands for 12 hours to correctly set the time and date. |

※In the event of any other problem, please contact the retailer from whom the watch was purchased.